

2022年12月26日

お得意様各位

茨城県生コンクリート工業組合  
理事長 田島 毅



### 残コン有償化についてお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は、工組員工場の生コンクリートをご用命賜り厚く御礼申し上げます。

さて、茨城県内では2018年10月より戻りコンの有償化制度を導入し、持ち帰り生コン（戻りコンと残コン）の削減に取り組んで参りましたが、残念ながらなかなか減っておりません。原材料費の高騰により、生コン製造原価が大幅に上がっている中、産業廃棄物として処理せざるを得ない持ち帰り生コンは誠に不本意であります。又、CO2削減の点からも生コンクリート業界として実施出来る対策として持ち帰り生コンの削減に尽力して参りたいと考えております。

今般 持ち帰り生コン削減に向けた抑止力の観点から、戻りコンと同様に残コンの有償化を実施すると致したく、事情ご賢察のうえ、ご理解ご了承を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

#### 1. 実施に際して

県内各協同組合（県北協組、県南協組、鹿島協組）より実施内容をご案内させていただきますので、宜しくお願い致します。周知期間を一定期間設けて頂く予定です。

#### 2. 残コンと戻りコンの定義

残コン・・・アジテータ車から一部荷卸し後、持ち帰る生コン。

戻りコン・・・アジテータ車から全く荷降ろしする事無く、持ち帰る生コン。

#### 3. 残コン・戻りコンの発生状況

東京協組の統計

年度	2020		2021	
	数量	比率	数量	比率
残コン	45千㎡	2.3%	51千㎡	2.3%
戻りコン	11千㎡	0.6%	15千㎡	0.7%
合計	56千㎡	2.9%	66千㎡	3.0%

茨城県におきましても同程度の比率と思われまます。

東京協組も2014年4月より戻りコンの有償化を導入し、2023年4月より残コンの有償化を導入致します。

以上